

新型コロナウイルス感染症と
保育園の生活（乳児用）
～心の健康とケア～

白百合心理・社会福祉研究所



はじめに

COVID-19の感染拡大防止のために、私たち大人も子どもも、これまでの日常生活が大きく変わりました。ようやく保育園が再開して、各園で、試行錯誤で毎日の保育を作り上げている最中だと思います。

お休みの間、比較的ゆっくりと家族と過ごすことができ、子どもも意外と落ち着いている、そんな印象を持てる子どもも多くあったと思います。その一方で、様々な事情で困難を抱える状況に陥って、すぐにでも援助が必要な家庭も少なくありません。

正解のないところでの保育は、不安があって当然だと思います。このパンフレットが、そのような皆さんに少しでもお役に立てれば幸いです。

いわゆるコロナ禍は、完全に収束していませんが、子どもたちの健康と安全を第一に、家庭や地域、行政の方々と力を合わせて、より良い保育の創造を模索してまいりましょう。

白百合心理・社会福祉研究所 所長
青木 紀久代

2020.7.7



このパンフレットに関する問い合わせ先：

白百合心理・社会福祉研究所

E-mail : spi@shinsei-kai.org

目次

はじめに

子どもの状態と関わりのポイント

保育相談支援のきっかけをつかむ

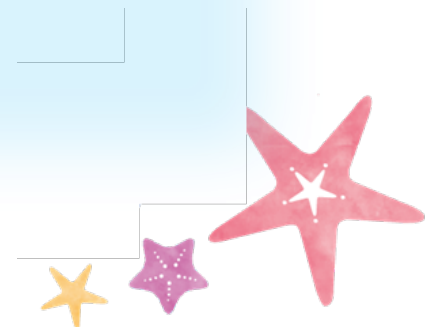
3密を避けながら、より良い保育を
〈あそぶ〉

〈たべる〉

〈ねる〉

マスクの影響について考えてみよう

参考リンク集



子どもの状態と関わりのポイント



子どもの発する様々な心のSOSのサイン。

どのようなところに着目したらよいでしょうか。



大人中心の生活リズムで 過ごしていた？

最近、午前中はぼーっと過ごすことが多く、遊びのエンジンがかかるのが遅いAちゃん。ちょっとしたことでぐずりやすい...



就寝時間が極端に遅かったりバラバラだったり。朝ごはんも食べる余裕が無い日があるのかも？

大人中心の生活で、自分のペースで過ごせていない可能性があります。

自分のペースを取り戻し、園のリズムにゆっくりと慣れることができるように、ゆとりを持って見守りましょう。

また、身体感覚が取り戻せるように、ごはんやおやつを本人のペースでじっくり味わったり、感覚を刺激する遊びを大切に関わってみてください。

衛生面への気遣いや、家の中であれもこれもダメ！と様々な制限を受けていたのかも。

Bくんは、自由度の高い日々を回復している最中。「いや」と発信できることは本人にとって大事なことなのです。

何かと制限の多い毎日だった？

Bくんは、保育者に指示されると、とっても嫌な顔。

時には、ものすごく激しく抵抗したり、イヤイヤと首を振り続けて泣いてしまったり...

強く叱られることが短期間でも集中すると、子どもは、攻撃的になったり衝動的になったりします。

ストレスを抱えていることを理解しつつ関わってみましょう。

保護者に怒られてばかり？

以前よりずっと攻撃的で、お友達とトラブル続きのCちゃん。「だめよ」と声を掛けても、なんだか全く響いていないみたい...

まずは、身体の傷つきや大人を恐れる様子が無いかなどを点検してあげてください。激しく叱られ続けたり、罰を受けていないか家庭の様子をうかがいましょう。

園では、出来る限り一対一で、抱っこなどの基本的なケアを重視した関わりをチームで行っていきましょう。



保育相談支援のきっかけをつかむ

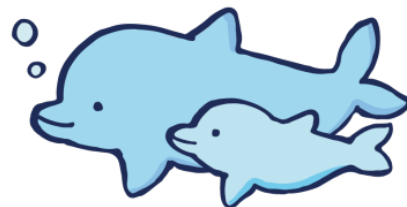
家庭にも支援が必要だとわかったら、保護者から相談してもらえりきっかけづくりを模索しましょう。送り迎えのほんのひとときが、介入のポイントです。

まずは、保護者ひとりひとりに丁寧な声掛けをしましょう。

質問攻めにせず
何気ない会話から



毎日暑いですね。ご家族の皆さんの体調はいかがですか？
保育園が再開してしばらく経ちますね。疲れはたまっていませんか？



朝から不機嫌な登園となるなど、親子関係がぎくしゃくしている時には、お迎え時の再会場面が特に大切。子どものできたこと、楽しかった体験などを一番に伝え、保護者の一日を労いながら、気持ちよく出会い直しができるように支援しましょう。親子関係のこじれのストレスから抜け出す助けになるはずです。

おかえりなさい！
Dくん、落ち着いて過ごして
ましたよ。お友達に
「どうぞ」ができたね。

保護者をあたたかく
迎え、子どもの何気ない
成長を伝えてみましょう



3密を避けながら、 より良い保育を...

★少人数
★その子の
テンポで

あそぶ

外遊び・水遊びをできるだけ多く持ちたいです。
大人の分担も、子どもの動線に合わせて、分散。
一人一人、遊びの始まりと終わりを決め、ゆっくり着替えて、お昼を食べて。
手洗いはちょっと手間をかけてあげましょう。

「ゆっくり」「ゆったり」
なのに、充実の保育



例えば…廊下をひたすら移動する0歳児。
たらいに入る子、シャワーを楽しむ子、ペットボトルで水を
すくったり、光にかざして水のきらめきを楽しむ子、近くに休憩
できる小さな席（シート）でくつろぐ子…など
保育のアイデアがどんどん湧いてきますね！





たべる

一斉に「いただきます」は
できないけれど・・・

何かと制限が多くなりがちなので、一人一人が満足を得る食事の演出はとても大切。

一人ひとりのペースで、「いただきます」や「ごちそうさま」を見届け関わりましょう。

「お腹が空いたよ～」 「あ～お腹がいっぱい！」
を、子ども自身がしっかりと感じられるいい機会です。



毎日小さな「お楽しみ」をプラス

1, 2歳児さんは、シェードの下のテラス席や、シートでピクニック。

献立も調理さんとコラボしたり、リクエストをあげてみましょう。

今までは、時々のお楽しみ、としていたことを、日常に取り入れるには、大人の演出力も重要ですね！



ねる

食事の流れから、普段より、個人差を生かそう。
満腹感と心地良い疲れと一緒に、五月雨に布団に入りましょ
う。ぐっすり眠れるとよいですね！

寝られない子も、のんびりと回りが静かになる雰囲気の中
で、心地よさを感じながら、気長に。

個人差の大きい0歳児さん。眠れないお子さんは、カート
に乗って園庭の風にちょっと当たりながら、ゆれながら・・・
保育者の自由な発想で。

寝る前のお話の時間に・・・

廊下や、部屋の静かな場所なども使って、グループごとに
絵本を読んでみるのも楽しいですね。

1対2くらいなら、少しだけ子どもから距離を置いて、ある
いは、横並びに向かって。マスクを少し外して伝わる先生の
澄んだ声。子どもはしっかりキャッチしています。



マスクの影響について考えてみよう

安全に過ごすために、大人のマスクの着用が欠かせない日々が続いていますね。0・1・2歳児の育ちをどのように保障していくかが、課題です。



子どもがこっちを見てくれない？

遊びの楽しさを共有したり、安全に配慮しながら、じっくり遊びこみたい時期。

保育者の豊かな表現は、言葉以上に表情にあるはず。マスクのマイナス面は、細やかな身振りなどで補っていきましょう。

大人の健康管理を十分しながら、 子どものニーズに応えよう。

「もぐもぐ、ごっくん」大人の食べる様子を見られると、子どもの食べる意欲がわいてきます。

大人の歌うような語りかけと、明瞭な言葉を伝える口元。発語を促す保育の基本です。



参考リンク集

WHO_COVID-19アウトブレイク中のメンタルヘルスに関する注意点(2020年6月4日)

<https://covid19-jpn.com/mentalhealth-who/>

緊急下の子どもへのケア「子どものための心理的応急処置」(2020年6月4日)

<https://www.savechildren.or.jp/lp/pfa/>

国立成育医療研究センター 新型コロナウイルスと子どものストレスについて

(2020年6月5日)

<https://www.ncchd.go.jp/news/2020/20200410.html>

緊急下の子どもへのケア「子どものための心理的応急処置」(2020年6月5日)

<https://www.savechildren.or.jp/lp/pfa/>

青木紀久代 編 (2010) 「いっしょに考える家族支援—現場で役立つ乳幼児心理臨床—」

明石書房

青木紀久代 編著 (2015) 「実践・保育相談支援」みらい



「新型コロナウイルス感染症と保育園の生活（乳児用） ～心の健康とケア～」

発行年月 2020年7月 初版

発刊 白百合心理・社会福祉研究所

【作成】

白百合心理・社会福祉研究所 所長 青木 紀久代

研究員 村上 葉月

// 大下 侑里子

// 大田 真由美

// 麻田 萌



内容について、許可なく掲載・改変・トレース・翻訳はご遠慮ください。
引用、印刷、電子データでの配布等の際には出典を明記の上、ご活用ください。

